

T-SPOT検査を受けられる/受けられた方へ

香川県東讃保健福祉事務所 ☎0879-29-8262(結核担当)

T-SPOT(ティースポット)検査は、結核菌の感染を調べる血液検査です。

- 結核は、結核菌による感染症です。結核菌という細菌が体内に入ることによって感染し、結核菌が増えて悪さをすることで発病します。発病すると、咳や微熱などの風邪に似た症状が出ますが、はっきりとしないこともあります。
- 結核菌は空気を介して感染するため、気づかぬうちに感染していることがあります。そのため、結核感染のリスクが高いと健診で判断された方に、感染を早めに発見するため、保健所からT-SPOT検査をご案内しています。
- T-SPOT検査は、結核に感染したことがあるかが分かる血液検査です。結核菌がもつ特殊なタンパク質を利用して、採血した血液のリンパ球を刺激し、反応がみられるかどうか(陽性かどうか)を確認します。

T-SPOT検査が 陽性 の場合

- 結核菌に感染している、と考えられます。しかし、感染した時期までは分かりません(昔の感染と、最近の感染は区別できません)。また、結核菌が実際に増えて悪さをしているか(発病しているか)、周りへ感染させるおそれがあるか(排菌しているか)、などについて、さらに調べる必要があります。
- そこで、陽性の場合、病院を受診し、胸部X線検査などを受けていただきます。発病や排菌をしていると判断された場合、精密検査や治療が行われます。治療は、通院でできる場合と、入院が必要になる場合があります。入院が必要となるのは、他の人に感染させる可能性が高い(発病・排菌している)場合です。

T-SPOT検査が 陰性 の場合

- 結核菌に感染している可能性は低いです。基本的に様子をみることができますが、検査のタイミングによっては、あとから陽性になる可能性があります。そのため、数か月後に再検査をお願いすることがあります。

T-SPOT検査の流れ：陽性の場合、受診が必要です。

